

2015年度 協豊会関西地区 第4回講演会
＜京都大学総長 山極 壽一 様＞
「コミュニケーションの原点をゴリラに学ぶ」

2015年度、第4回目（2015年12月16日・於 住友クラブ 3階大会議室）の講演会は、京都大学総長 山極 壽一（やまぎわ じゅいち）様に「コミュニケーションの原点をゴリラに学ぶ」をテーマにご講演を頂きました。

山極様は、1952年東京都のご出身で、京都大学理学部卒業、同大学院理学研究科博士課程を修了後、京都大学霊長類研究所助手、京都大学大学院理学研究科教授等を経て2014年10月より京都大学初の戦後生まれの総長にご就任されました。

講演は、霊長類の脳が大きくなったのは言語の発明によるものではなく、言語以外のコミュニケーションを行う集団規模の大きさに関係するというご説明から始まり、ゴリラ特有のお互いの顔を極端に近づける様子の映像を用いてご紹介を頂くなど、冒頭からぐいぐい惹きつけられる内容でした。

また、ヒトがゴリラと同様の共感能力を高めた背景を、共同子育てと共食による分かち合いから解き明かすご説明がありました。さらに、ヒトがより高いコミュニケーション能力を勝ち得た理由を、オランウータン・ゴリラ・チンパンジーには無いヒト特有の長い子ども期（1歳～6歳）の子育ての視点から分かり易くご紹介頂きました。

講演終盤においては、人類がチンパンジーと比較にならない程大きな進化の原点となった、家族を基礎として築き上げられた集団社会が、「インターネットと個食の時代」の到来による「家族崩壊の危機」から「人間性の消失」に進み、その結果個人の利益を優先するサルの序列社会に落込んで、将来人類崩壊に進むと危惧されておられる先生の危機感をひしひしと感じました。この内容は、今後の自分、家族、社会との行動についても深く考えさせられるお話でした。

講演全体を通じ、定量的なデータに基づいた内容が多く理解を深めることが出来、我々には無い新たな視点をご提供頂いて、大変興味深くお話を伺うことが出来ました。また、講演会後のアンケートの中では山極様の著書に関する問い合わせもあり、大好評のご講演でした。

以上

